

黒曜石の道を歩く

駒形遺跡から
推定運搬ルート 北澤さん(茅野)ガイド



駒形遺跡近くの林道で黒曜石を発見した際
の状況などを参加者に説明する北澤さん(左)

縄文どんぐりカフェ

茅野市の市民グループ「縄文どんぐりカフェ」は
29日、黒曜石をテーマに縄文文化などを学ぶイベン
トを同市米沢の駒形遺跡周辺で開いた。地元の古道
研究家、北澤俊弘さん(79)＝同市中大塩＝がガイド
となり、参加者は縄文時代の黒曜石の集積地である
同遺跡から産地の霧ヶ峰(諏訪市)までを結ぶ運搬
ルートと推定される林道を歩いた。(久保勇名)

北澤さんは定年退職後に考
古学研究を始め、霧ヶ峰では
長年ガイドを務めた。201
3年ごろから同遺跡周辺で黒
曜石の運搬経路の推測を行
い、約5年間にわたって尾根
や山内の古道を歩いて調査し
た。調査で黒曜石が見つかつ
た32カ所を地図と照合した結
果、霧ヶ峰星ヶ台から同遺跡
に至る片道約8キロのルートが
浮かび上がったという。

この日は同グループの関

係者と地元住民ら約30人が、
同遺跡北側の林道を上った
後、明神尾根を下りて遺跡に
戻る約2キロのコースを歩い
た。途中、北澤さんが黒曜石
を発見した3カ所で当時の
記録資料を紹介し、「縄文
時代から使われ続けてきた尾
根や沢沿いの歩きやすい道が
後世まで残っている」と説明
した。

幸雄さん(69)による駒形遺跡
の解説もあった。現在、同グ
ループは絵本「二つの国宝土
偶と黒曜石」を製作中で、11
月末までに完成予定。今回の
催しは絵本の関連イベントと
して企画した。